

パクロブトラゾール粒剤 スマレクト粒剤	取扱メーカー： 石原 原体メーカー： シンジェンタ
成分： パクロブトラゾール〔ジベレリン生合成阻害剤〕…0.60%	性状： 淡褐色細粒 毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】

- 生育中の稲に対し微量で顕著な節間短縮と強硬化効果のある水稻用倒伏軽減剤。
- 適正な使用時期（出穂7～20日前処理）の処理で、上位3節間（第1節間、第2節間、第3節間）を効果的に抑制し、耐倒伏性が高まる。
- 主に根部から稲体に吸収され速やかに生長点に運ばれ、上位3節間の伸びを効果的に抑制する。
- 処理された稲は上位葉が直立し、受光態勢の良い草姿となるので登熟向上が期待できる。
- 倒伏するか判断できる時期（出穂前20～7日）に使用可能。
- 適正葉量（10 a 当り2～3kg）では連年使用しても水稻生育への影響はほとんど見られない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 湛水状態でまきムラのないよう均一に散布し、散布後は少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしない。

【薬効・薬害等の注意】

- 黒ぼく土壌では効果が十分に発揮されない場合があるので注意する。
- 重複散布や多量散布は、薬害を生じたり、後作物や次年度の作物に影響する場合があるので使用量を厳守する。
- 本剤を使用した後に、後作物として野菜類を作付する場合、浅い耕起では初期生育に影響することがあるので丁寧に深く耕起する。
- 本剤を使用した水田土を野菜類の育苗に使用しない。

【安全対策上の注意】

- 無人ヘリコプター散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。



【適用と使用法】

作物名	使用目的	使用時期	10 a 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	パクロブトラゾールを 含む農薬の総使用回数
水 稲	節間短縮による 倒伏軽減	出穂7～20日前	2～3 kg	1 回	湛水散布	1 回
	登熟歩合向上	出穂10～20日前	3 kg		無人ヘリコプターによる散布 湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布	